

二五一九番

奥山おくやまの 真木まきの板戸いたとを 押し開おひらき しるや出いで来こ
ね 後のちは何なにせむ

二五二〇番

刈かり薦こもの 一重ひとへを敷しきて さ寝ぬれども 君きみとし寝ぬ
れば 寒さむけくもなし

二五二二番

かきつはた につらふ君きみを ゆくりなく 思おもひ出い
でつつ 嘆なげきつるかも

二五二二番

恨うらめしと 思おもひて背せなは ありしかば よそのみ
そ見みし 心こころは思おもへど